



国土地理院の未来を担う、新たな仲間たち! 1年間の研修へ!!



一般職として採用された技官は、国土交通大学校(東京都小平市)で約1年間の研修を受けます。この研修は全寮制で実施され、測量や地図作成の基礎をはじめ、これらに関係する数学や地球科学、プログラミングなど、業務に必要な知識や技術を体系的に学びます。また、講義だけでなく、実際に郊外に出て行う測量実習など、業務に直結した実践的なカリキュラムも組まれており、大学の専攻を問わず、未経験の方でも安心して技官として働ける環境が整っています。



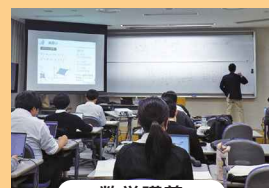
体系的な学びで確かな知識と技術を習得



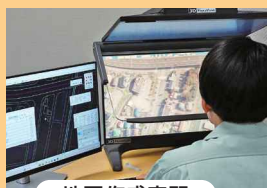
普通測量研修、ある一日



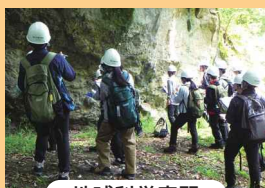
寮から講義室や食堂まで2分。
研修に集中できる環境です!



数学講義



地図作成実習

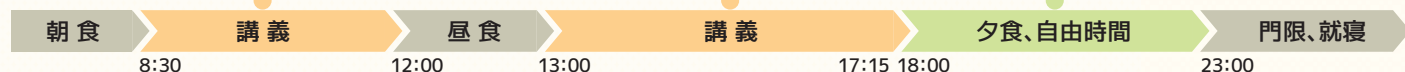


地球科学実習

幅広い講義を受けられます。時には野外で実習も!



夕食後は、講義の復習や同期との懇談等、
充実した時間を過ごします



給与・勤務時間など

総合職（院卒・大卒）、一般職（大卒）			
初任給 ※地域手当込み	総合職（院卒） 296,496円	総合職（大卒） 280,720円	一般職（大卒） 269,120円
諸手当	扶養、地域、住居、通勤、単身赴任、超過勤務（残業）など		
昇給	原則年1回		
賞与	年2回 6月及び12月に支給（期末、勤勉手当として、1年間に俸給の月額等の4.65月分）		
勤務時間	1日 7時間45分 8時30分～17時15分（一部の地方測量部は時差通勤あり）		
休日	土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）		
休暇	年次休暇20日（4月採用の場合は15日／年） 残日数は20日を限度に翌年に繰越 そのほか、病気休暇、特別休暇（結婚・夏季・出産・忌引）、介護休暇など		

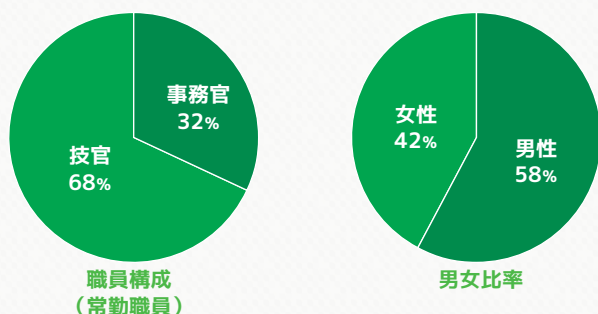
部活動・サークルなど

休日や勤務時間外にいろいろなクラブが活動しています。
本院（つくば）では、軟式野球、サッカー、硬式テニス、バレーボール、バドミントン、茶道、うたごえ、コカリナと活動は多彩です。
クラブ活動を通して充実した時間を過ごし、たくさんの仲間と交流することができます。

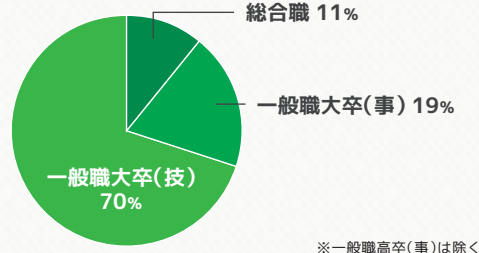


数字でみる国土地理院の職員（30歳以下）

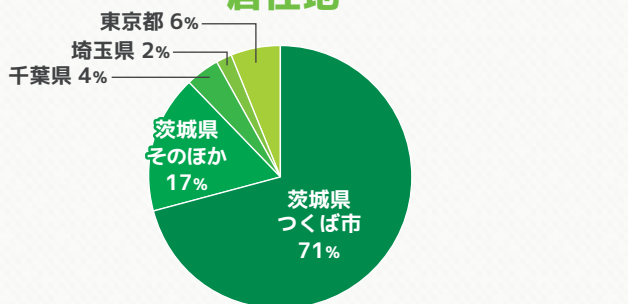
職員構成（常勤職員）



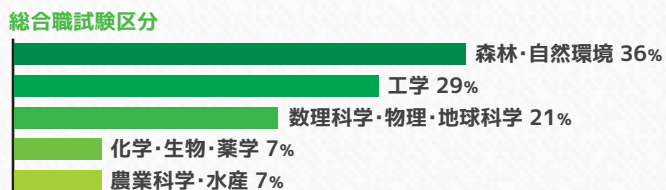
採用試験



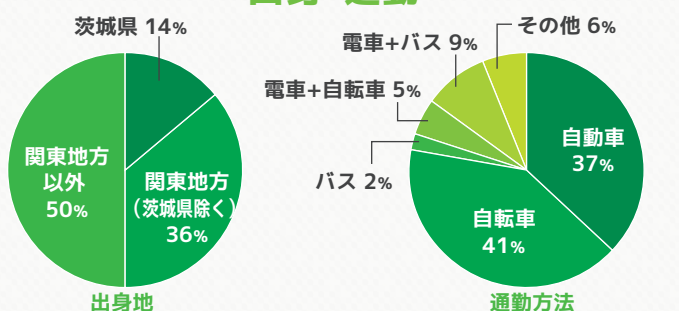
居住地



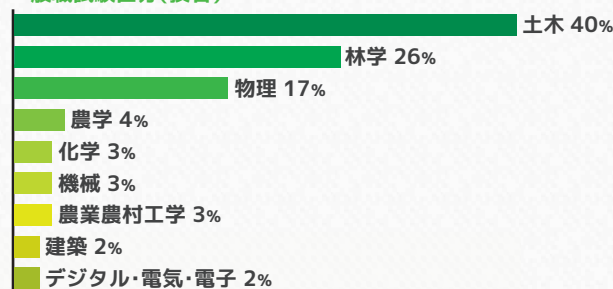
採用試験区分



出身・通勤



一般職試験区分（技官）



勤務先



みんなの

ギモンに リブします!

Q 国土地理院への志望の 決め手は?

- 地図や測量業務に特化した職場であること、業務を通じて、人の生活や命を守ることのできる仕事だからです。
- 学生時代に学んできたことが生かせるような職場だったと思ったから。
- インターンシップに参加した際に、職場の雰囲気がとても良かったため。

Q 働くうえで大切だと 感じることは?

- 業務依頼が来たら、基本的には快く引き受けること。仕事を任せてもらえるならどんどんやった方がよい。
- 常に好奇心や向上心を持ち続けること。仕事とプライベートをしっかりと分けること。
- 仕事相手への思いやり。

Q 仕事で自分の成長を 実感するときは?

- 多くの人が関わるような、大きな仕事をやり遂げたとき。
- ルーティン業務を行う際に、前より迅速かつ正確に業務を遂行できたとき。
- 任せてもらう業務が増えたとき。

Q 受講してみて、 自分のためになった研修は?

- 英語研修です。今の部署は海外の学会に参加することが多々あるので、受講して良かったです。
- 測量行政〔基礎〕研修。自分は事務官だが、地理院の業務を知ることができる良い機会だった。
- 入省後、1年間の普通測量研修です。地理院で働くうえで必要な知識を1年という時間をかけてじっくり学べます。



Q 国土地理院ならではの 感じることは?

- 技術を持った職員が多く、ボトムアップを大切にしてくれる。
- 技術的な業務を法律に基づいて行うところ。
- 出張等で日本各地で仕事をする機会があることです。人によっては離島で作業することがあります。

Q 採用前にやっておいたほうが いいことは?

- 仕事が始まってからでも新しいスキルは身につけられます。強いて言えば学生生活を謳歌することでしょうか。
- 地理院についての知識を深めること。地理院のHPを漁るだけでも勉強になる。
- 大学での勉強・研究などを通して自分の専門性を磨いておくこと。

Q 担当業務に慣れるのに どのくらいかかる?

- 担当する部署にもよるが、半年程度は走りながら慣れていくようなイメージで実施している。
- 仕事内容が定常的なものから、突発的なものがあるので、慣れない(飽きない)です。
- 1年程度。毎月ある業務なら3か月で慣れるが、突発の問合せや年度末にあるような業務もあるため。

Q 思い出に残る仕事は?

- 入省して初めて経験した災害対応業務。
- 国会対応関係において、答弁書の作成・確認を行ったこと。
- 南鳥島(日本最東端)への出張が忘れられないです。

Q つくばの生活環境で おすすめは?

- つくばは「パンの街」ということで、パン屋さんが多いこと。
- 自然の豊かさと都心へのアクセスの良さが両立している点。
- 住むところによるが、坂道が少なく自転車でもある程度生活できること。

Q リフレッシュ方法は?

- 年次休暇をまとまった期間取得して、趣味を満喫する。普段生活しているつくばから離れた場所へ出かける機会を意識してつくる。
- 土日は朝からカフェに行って優雅な気分に入り浸る。
- 一人でカラオケに行って腹から声を出すこと。



もっと知りたい 先輩職員の 「へえ〜!」 体験談



業務編

- 災害時には、空中写真を活用して被害状況を地図にまとめています。
- 学校・郵便局などを示す“地図記号”の作成も担当しています。
- 学校などでの出前講座では、講師として測量や地図の魅力を伝えています。
- 測量イベントに参加し、他機関・企業の取組を学ぶ機会もあります。
- テレビや雑誌の取材を受けることもあり、放送日には職場も大盛り上がりです。

日常編

- とにかく敷地が広く、測量施設もあるため、お昼の散歩にぴったりの環境です。
- 昼休みには、食後にサッカーやテニスをして着替えまで済ませる猛者もいます。
- レクリエーションが充実しており、フットサル・縄跳びなどの運動系から、職員音楽会といった文化系まで幅広く楽しめます。
- 敷地内にカブトムシが出るという噂も(まだ見たことはありません)。
- フレックス制度を活用し、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができます。